仮説と検証06

立体地球で考えられる「上」とは、人間が立った時に引っ張られる重力の向きの反対が「上」であるということに納得した。Good! これによって考えられるリベラルアーツ的な視点、考えとして、思い切って考えてみることや、全然違うような状況を考えてみることが新しい発見や気づきに繋がると考えた。普段生活して重力の向きや、地球に人間が立ったときの方向の違いなど考えることはないけど、考えてみると面白いなと思った。

上とか下とか、そんな日常に、「重力の向き」がかかわっていたわけです！

何かについて、思い切って突拍子もないことを考えることは、私たちが、いかに常識・思い込み・先入観から自由でないか、を知らせてくれると思います。いわば、リベラルアーツ的な考え方ですね。

発見につながると考える。他にも、あたりまえとは反した違う状況を考えることで、新しい気づきを得る場合もあることが分かった。自分のあたりまえ以外の考え方をすることで、発見があると考える。

どちらがすごく気になったけど、動画を見て、実は高いのは人にとっての高いではなく、重力は地球の中心に向かっているわけだから人にとっての上とは違って、相対と認識されるのは「重力の向き」の反対だとわかった。

今回は考え方について、特に自分の考えをまとめるところから発想に繋げるヒントまで学んだ。特に私は、ICTの話で「考え方の型」を組み合わせるスライドを見て、ゼミ論や卒論のテーマ決めにも繋げられると思った。私はアウトプットがとても苦手で、昔から作文や自由研究など「自分の考え・発想を自由にまとめる」という作業で思いついては没にする／全消しするをくり返してうまく形にすることすらできなかった。これでゼミ論が今一番大きな悩みだったが、「マインドマップ」で学びる式に興味を書き出して「考え方の型」のように特に自分の気になる問題について具体的な形にしぼるという流れを意識したいと思った。

マインドマップやアクティブリコールは、勉強法の一つとしても覚えておくといいと思います。ノートの取り方は、伝統的な方法ですが、これらは新しい学習法です！

大きな問題を分割して考える、は、まさにデカルトが示した方法です。ちなみに「方法序説」は、「我想うゆえに我あり」という有名な言葉のもとになった本でもあります。

さらに、統合する際に組み合わせで考える、というのが今回提案した観点です。

これも一つの問題解決の方法だと考えています。

科学のABCも問題解決の方法です。問題解決能力は、就職でももてはやされるワードなので覚えておきましょう！

アクティブ・リコールについて、高校のころ世界史を覚えるためにやっていた。実際、理解力や記憶力も上がり、たとえ忘れても覚えなおしはそこまで時間がかからないようになった。その経験があったので、再度関連する話を聞いて、やはり効果のある方法であったのだと考えた。また、そこから、一日おわりの日記などに、その日学んだことなどを書けば同じ効果を得られるのではないかと考えた。今後ためしてみようと思う。

みようと思った。また、今回の授業で考えたことは、思いついたことはそのままにしておかずどうやったら解決法が見出せるかと重要なのだと考えた。分割して考える話は、日常的に使える物だから実践していこうと思う。